



旧商大校舎風景
作者不詳



巻頭リレーエッセイ

ユニバーシティ・アイデンティティ

7年の会社員生活に終止符を打ち、個人デザイン事務所を設立した。いま手がけているのは、ある自治体の歩行者空間リニューアルに伴うロゴマークの制作。スケッチブックとPCとの格闘の日々が続いている。

いくつかのロゴを調べていて、ふと母校のロゴが気になった。調べてみると、左右に大きな翼、真ん中には「商大」の文字、上部に星というデザインだった。1998年制定。伝統を感じるきれいなマークだ。

大学のロゴといえば、明治学院大学のブランディングプロジェクトの一環で制定された佐藤可士和氏デザインのロゴが記憶に新しい。ビビットなイエローと、明朝の美しいフォント。あんな仕事をしてみたいと、憧れたことを覚えている。商大もロゴマークを刷新するときが来るのだろうか。スケッチブックとPCと格闘しつつ、腕を磨いておこうと思う。

岡田 友香梨
(旧姓寺下・平成24年卒)



新年ご挨拶 — 同窓が一丸となって!! —

緑丘会札幌支部
支部長

山 田 二 郎
(昭和45年卒)



明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはお元気で穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年から母校110周年記念募金活動が開始されました。私も札幌支部長として準備の打合せやフォロー会議そして企業訪問などで関わっておりますが、OB・OGの皆様の母校愛の篤さ、深さに触れる感激の日々でもあります。個人の寄付応募の立ち上がりの速さは勿論のこと職場単位での募金やサークル・クラブ単位での呼びかけが生まれ、「北の一星」に相応しい皆様の凛とした「緑丘愛」に敬意を表しますと共に心から感謝申し上げます。この浄財は現役学生への支援そしてグローバルを目指す教育支援等に活用されますので、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

3大学経営統合の準備もいよいよ山場を迎えると推測されますし、母校のブランド力向上支援の活動も昨年から「学長懇話会」という形で引き続き行われております。同窓会の使命は「我々卒業生相互の親睦を図ること」は勿論のこと「どんな時代になっても母校が社会から必要とされる大学であり続けるように支援・応援を続けていくこと」と認識しております。本年もご意見を沢山頂きながら支部運営に努めてまいりますので、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げます。

さて、今年の新年交礼会は2月15日(土)です。平成7年卒の皆さんが中心になり準備をしていただき、参加者の数は史上最高になろうかと期待しております。また新しき仲間、平成31年卒の皆さんをお迎えします。同期の仲間・ゼミやクラブ活動そしてサークルの先輩・後輩を誘い合って是非お集まりください。今年も新年の祝酒として、3大学のひとつ帯広畜産大学内に新たな酒蔵を建設し、地方創生に取り組む「緑丘蔵」の銘酒を用意させていただきました。今年の干支は「ねずみ」、私事ながら72歳の年男です。子年には増えるという意味合いもあるそうです。出会いの幸運で会場が一杯となるよう皆様のご来場をお待ちしております。

会員の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ありがとうございました

緑丘会札幌市役所支部は482名(平均年齢38歳)の会員を有し、20代の若い会員が年々増加している中、会員相互の親睦を図るため毎年夏に定時総会と懇親会を開催しています。創立110周年記念の募金活動開始を受け、今年度は総会・懇親会の案内状発送の際に、各会員に募金への協力も併せて呼びかけました。役員による



左より

納氏、見上氏、山田支部長、小山副支部長

直接の声かけや、若い会員も参加しやすいよう一口500円に設定するなど工夫をしたこともあり、母校商大の益々の発展を願う99名から174,000円の寄付を集めることができました。

見上雄一(昭和59年卒、北区長、札幌市役所支部会長)

納 真悟(平成8年卒、北野まちづくりセンター所長、同幹事長)

一年間を振り返って

小樽商科大学長
和田 健 夫



新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年も大学を巡る重要な出来事がありました。

たとえば、この4月からスタートする「高等教育の修学支援制度」です。住民税非課税世帯の学生に対して授業料等減免と給付型（返還の義務のない）奨学金支給を行うという、様々な問題を抱えていますが、それ自体は画期的なものです。

数年前から進められてきた入試改革は、受験生の「学力の三要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」を多面的・総合的に評価することを目的としています。OB・OGの皆様も受験した入試センター試験は、令和2年度から「大学入学共通テスト」と名を変えて、国語、数学に新たに記述式問題を取り入れ、英語は、「読む、聞く、話す、書く」の4技能を評価するために、民間の英語資格・検定試験を活用するという大きな改革が予定されていました。ところが、新聞報道でもご案内のとおり、土壇場になって文部科学省は、受験生の英語資格・検定試験の成績を各大学に提供する「大学入試英語成績提供システム」の導入を見合わせると言い出したために、すでに活用を公表している大学は対応を迫られることになりました。

昨年6月には文部科学省が「国立大学改革方針」を公表しました。わが国社会が人材育成と研究の発展のために長い年月をかけて築き上げてきた「知のプラットフォーム」とも言うべき国立大学に、知識集約社会の原動力となるべく、様々な改革を迫る内容が盛り込まれています。

この方針には、「教育研究力向上のための連携・再編の推進」が謳われており、すでに多くの国立大学が取り組んでいます。本学と帯広畜産大学、北見工業大現在進めている法人統合も、この流れに沿うものです。2022年4月の新法人設立・教育研究連携体制の構築に向けて作業を進めるために、昨年1月に「経営改革推進会議」を設立いたしました。広く外部有識者を加えたこの会議において、新法人の組織や連携のありかたを審議し方向性を決めていくことになります。島崎憲明理事長もメンバーの一人で、毎回貴重なご意見を頂いております。三大学の持ち回りで、これまで4回開催いたしました。新聞報道でも何度も取り上げられました。詳細は、同窓会誌「緑丘」127号をご覧ください。島崎憲明理事長も「緑丘」126号にその様子を紹介されております。



あれ!? 期待以上。

リーフレットやパンフレット、
記念誌の作成もご相談ください。
岩橋印刷が力になります。

豊富な経験と実績で、「こんなものをつくりたい」をカタチにするための確かなご提案をさせていただきます。お気軽にご用命ください。

会社案内

広報誌

ポスター

パッケージ

封筒

伝票

ホームページ

電子書籍

大型広告



岩橋印刷株式会社

<http://www.iwahashi-printing.co.jp/>

本社／〒063-8580 札幌市西区西町南18丁目1番34号 TEL.011-669-2500 FAX.011-669-2600

東京営業所／〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町8番2号 BIZ MARKS日本橋茅場町504

TEL.03-6403-4495 FAX.03-6869-3886



一活躍する緑丘人― 還暦高専生

高 木 亨
(昭和57年卒)



受付のきれいなお嬢さんが気の毒なくらいあわてはじめた。ひょっとして名前が見つからないのかと思い、彼女の手元の名簿を覗きこむ。上から数行目にあった。

「名前、ここです。高木亨」

「あの～」

「はい」

「ご本人さま……ですか」

なるほど。疑われるのも無理はない。私の後ろには、学生服姿の中学生たちが五十人近く順番を待っていた。この中でひとりだけジャケット姿のじじいを受験票を差し出すというのは、替え玉受験としか見えないだろう。もっともこんなわかりやすい替え玉受験が、人類の歴史上かつてあったとも思えないが。

こちらは不審者とみなされる事態も予想して、自動車免許から保険証からキャッシュカードから名刺から飲み屋の請求書から、およそ本人確認に使えるもの一式を持参していた。だが求められてもいないのにそれらを出すというのになにか事を荒立てるようで気がひけたので

「はい。本人に間違いございません」

なんとか探偵団の鑑定結果のようにきっぱりさわやかに答えた。

「わ、わかりました。どうぞ」

清水の舞台から飛びおりるがごとき決意の声に押され、私は受験教室へ向かった。

61歳で高専入学することとなったこの春に最も「てれた」瞬間は、一般受験の場における、中学生の大群にまじって順番を待っていた、まさにこのときだった。もちろんこれよりはるかに恥ずかしい場面、せっぱつまった状況は人生六十年のあいだに星の数ほどあった。何事も慣れだと承知している。おっつけ、似たようなことはもっと起きるだろう。これから試験を受けるのにすでに受かったつもりで、私は一般入試のリング(教室)に向かった。

それからの、日本ではここ釧路高専でしか起こりえなかった珍事の数々は、そしてなぜ釧路市教育委員会学校教育部長を一期として市役所を去った男が、いまさら15歳の大集団にもみくちゃにされながら工学を学ぶ道に入ったのかについては、弊ブログ「還暦高専生(かんれき こうせんせい)」にご紹介している。御笑覧いただければ幸いである。

●ブログ 還暦高専生(かんれき こうせんせい)

<http://kanrekikousensei.livedoor.blog/>

●Facebook 千日の昼と万日の夜

<https://www.facebook.com/946kyouiku/>

高専で学ぶ傍ら、オリジナルキャラクターの4コマ漫画執筆、落語など多方面で活躍されている高木さん。涙あり笑いありのブログをぜひご覧ください。



市P連だよりに連載中「なちゅうろだよ」より

ー他支部だよりー

十勝支部のご紹介

緑丘会十勝支部長

加藤 祐 功

(昭和59年卒)

札幌支部の皆さま、こんにちは、十勝支部長の加藤です。十勝支部の紹介をしたいと思います。十勝はご存じの通り日本の台所と言われるように食料自給率は1123%（2018年度帯広市調べ）牛の頭数（肉牛+乳牛）は十勝の人口より多い約44万頭であり、文字通りの農業王国、酪農王国です。最近は観光にも力を入れており、昨年NHKの連続テレビ小説「なつぞら」で大きな注目を戴きました。

十勝はガーデン街道など地域活性の為に施策を打ち出しております。私は昭和59年に商大卒業後、山梨県甲府にて大手のスーパーに勤めておりました。山梨は内陸気候で夏は暑く冬は寒く十勝に似た気候でした。ぶどう、ももなど、フルーツ王国で農業主体の経済活動がおもでした、当時は果物での粗収入で充分という状況でしたが時代と共に、付加価値ビジネスとしての在り方が徐々に表れてきた頃でした。その代表が地元で作られるワインでした。今ではワインは山梨の大きな産業になってきました。十勝でも似たようなビジネスの展開が始まっております。単なる1次産品を作って売る形から、独自の付加価値をつけて販売をしていこうとする動きが加速してきたと思います。

本州方面の企業とのコラボにて商品開発をすすめ、彼らのマーケティングとの融合から、消費者に直接届けてみたり、あるいは東京にレストランを開設したりしています。また、関東の製造メーカーと手を組んで、

十勝の素材を活かした商品を大手コンビニに提供するなど、大手の1次問屋がしてきたことをあっさりとやり遂げております。

ユニクロのビジネスモデルをマネするような製造から小売り（最終販売）までを一貫してデザインする企業がますます出てくると思います。商大のメンバーである上川大雪酒造（塚原代表）が新たに帯広畜産大学内に日本で初めての国立大学内での酒蔵を2020年春に新設します。ビジネスのやり方次第で千載一遇のチャンスと考えてもおかしくない時代にいるのだなと思います。

十勝支部のメンバーによる定期交流も和田学長はじめ先輩方のご支援の中、盛り上がりを見せております。今後商大、帯畜大、北見工大の3大学の統合がありますが、各大学のノウハウや交流が増えればまだまだいろいろな可能性が開かれていくと考えております。



2019年11月16日忘年会

オホーツク支部を設立しました



10月26日（土）に、北見市内のホテル黒部で支部設立懇親会を開催。昭和44年卒から平成30年卒まで幅広い世代のOB38名がオホーツク管内から集いました。今後は、今回の出会いとネットワークを軸に、緑丘会の支部の一つとして管内在住のOB同士の親睦を深められるよう、副島豊道支部長（平成6年卒）を筆頭に支部活動を展開してまいります。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします！

商大32年卒げんき会 報告

中 村 典 雄
(昭和32年卒)



令和元年6月5日 於：定山溪花もみじ

参加者：

相場実 相場和子 市川健
岡本守衛 榎原隆司 柴田哲治
清水卓治 鈴木市男 駿河寛治
高橋武一 富山憲一 中村典雄
橋口順次 横井久 吉田克己 (敬称略)

昭和32年3月卒業以来早や62年、180名の同期の半数は他界、同期会参加者は前回から激減した。常連参加の中本毅彦、篠崎義彦、熊木康之、楠本吉哉等のメンバーは健康等の理由で残念乍ら今回は不参加。次回は三年後の米寿の会、おそらく最後の会になるであろうが是非体調を整えて多数の同期諸兄の元気な参加を期待する。ご自愛を祈る。

6時からの宴席は榎原君の司会により、委員長挨拶(中村)、横井君の乾杯で始まったが、参加人数が尠ないため今回は趣向を変えて全員から「企業戦士としての激動の62年の人生」の一端を披露して頂いた。清水君の中締め、岡本君のリードで校歌を斉唱の後、二次会も含め深夜に及んだ語り合いは、之までにはない奥深いもので、感銘ひとしおであった。

「人生は途中を楽しむ為にある」との金言どおり、かけ替えのない同期の仲間と、何ものにも束縛されない二十四時間自由の^{いま}現在を楽しみ、余生を満喫したいものだ。



モチロンギュー

冬タイヤは
3つの基準で選ぼう。*

効きもち!

ロングライフ!

氷にギュー!

WINTER MAXX 02

※ダンロップの基準であり、タイヤ業界全体の基準ではありません。
☎ 0120-39-2788 <https://tyre.dunlop.co.jp/>

ダンロップ 検索

大切な人を守るため、タイヤの空気圧チェックをよびかけています。空気入りタイヤを実用化したダンロップの責任だから。

1995年度入学生同期会報告

鈴木 峰 子

(平成11年3月卒)

8月10日(土)、ロイトン札幌ハイネスホールにて、卒業後初めての全体同期会を開催いたしました。

在学時に自治会会長だった小澤隆くんから「同期会をやろう!」と札幌在住の数名が召集されたのが3月末。準備は間に合うのか、全国各地に散らばっている同期たちに開催情報を伝えることができるだろうか…と不安もありましたが、卒業後20年のこのタイミング。40代半ばとなり、私たち自身がみんなに会いたいという想いが大きな原動力となり、関東在住の数名に発起人に加わってもらい準備を進めることができました。

当日は、札幌近郊や道内はもちろんのこと、道外や海外からも多くの方が駆けつけてくださり、和田健夫学長にもご臨席を賜ることができました。当時の学長だった山田家正先生のご臨席はかないませんでした。心温まるお手紙とお心遣いを頂戴いたしました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

発起人代表の小澤くんから、開催に至るまでの熱い想いと山田元学長からのメッセージをお伝えし、和田学長からのご挨拶、乾杯で始まった会は、互いの近況報告や欠席した仲間の話題、懐かしい商大時代の思い出話ですぐに大賑わいとなりました。

緑丘祭実行委員長だった増田くん編集の「思い出の写真スライドショー」では、当時の流行曲をBGMに、当時のゼミやサークルでの懐かしい様子や、小樽の景色が大きなスクリーンに映し出され、会場からは歓声

(悲鳴?) が沸く場面も…。続いて、くじ方式でランダムに近況報告をしていただきましたが、それぞれの立場でのご活躍やお元気な様子がわかり、20年の年月が一気に埋まるひと時となりました。3時間があっという間に過ぎ、体育会会長だった本間くんの一本締め、商大後輩カメラマンによる笑顔いっぱい記念撮影で盛会のうちに終了となりました。

2次会には、和田先生を含め、予定より大幅に多い約40名にご参加いただきましたが、話が尽きることなく、3次会4次会へ繰り出された方もいたとのこと。同期の素晴らしさと商大魂をあらためて感じることができ、次回に繋がる大変よき日となりました。

今回参加して下さった同期の皆さま、並びに開催にあたってご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。また近いうちに機会を設けたいと考えておりますので、その際はさらに多くの同期と再会できることを願っております。



コミュニケーション能力を育む
ゼミナール制による少人数教育

希望の就職を実現する万全な
学生支援体制と高い就職決定率

資格取得に向けた
各種検定試験対策講座の開講

北大に隣接した便利な交通アクセス
(札幌駅からバスで約15分)

北海道武蔵女子短期大学

● 教養学科 ● 英文学科 ● 経済学科

〒001-0022 北海道札幌市北区北22条西13丁目

お問い合わせはメールまたはフリーコールから!

0120-634-007

[Eメール] qbox634@hmjc.ac.jp
[URL] http://www.musashi-jc.ac.jp

足で稼いで汗をかき、 ご縁をつなぐ

緑丘会札幌支部
副支部長

福井 郁子
(昭和57年卒)



お世話になった先輩に副支部長拝命の報告をした際にかけていただいた言葉を、今噛みしめています。「副支部長職は名誉職ではない、足で稼いで汗をかき、そこで得た人脈を緑丘会・母校小樽商科大学のためにご縁をつなぐのが役割」と教えていただきました。

今から9年前の2011年、小樽商科大学100周年の記念の年に四半世紀ぶりに夫の転勤で北海道へ戻ってきました。アイセックの先輩福井芙美子さんが事務局を担当していたご縁で、緑丘会札幌支部とのつながりができました。以来、サテライトセミナー・女子部会・イベント部会などの活動の中で、多くの同窓の皆様とのご縁ができました。

近年は、特に若い方々や女性の参加が増え、新年交礼会・年次大会・クリスマス会・ビジネス交流会などでお話をお聞きし、そのご活躍に感銘を受けています。そのような皆様に自分の得意分野のお話をさせていただく「ワンコインセミナー」を、女子部会で新しく企画し、その輪をさらに広げてい

ければと思っています。

昨年9月18日には、そのプレセミナーということで食品健康指導士・食生活アドバイザーの資格をお持ちの平成15年卒長谷川千尋さんによる「シュガーセミナー」を開催いたしました。広報の準備期間が短く参加者は少なかったのですが、「国内砂糖生産の現状」と「砂糖の効用」を学ぶ良い機会となりました。また、お土産としてスマイルの花の砂糖漬け等が飾られたおしゃれなカップケーキのプレゼントもいただきました。今後も自薦・他薦を問わず、多くの同窓の皆様にセミナー講師として活躍いただきたいと思っています。

また恒例のクリスマス会は、「市電でクリスマス」と題しイルミネーションに彩られた札幌の街並みを市電の車窓から眺めようという新企画で行われました。マジックショーもあり、こども達にはサンタさんからのプレゼントもあり、新しいメンバーも加わって楽しい会となりました。

これからも足で稼いで汗をかき、副支部長として札幌支部のさらなる発展のために、同窓の皆様のご縁をつなぐお手伝いができればと思っています。ワクワクするような楽しい情報のご提供をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。



究極の北海道産にこだわった酒造り

上川大雪酒造株式会社 <http://kamikawa-taisetsu.co.jp>

〒078-1761 北海道上川郡上川町旭町25番地1

取締役会長 島崎 憲明(小樽商大 昭和44年卒)

代表取締役社長 塚原 敏夫(小樽商大 平成2年卒)



緑
丘
蔵

上川大雪酒造 Gift Shop

北海道上川郡上川町旭町25番地1 Tel: 01658-7-7380

営業時間: (夏季) 10:00~16:00 (冬季) 10:00~15:00

定休日: 火曜・水曜(祝日は営業)、不定休あり



【札幌の酒販店】ヤマシヨウ酒店、カネキ小飼商店、青柳酒店、丸市桜本商店、酒舗七蔵、地酒の仙丸、地酒屋蔵、銘酒の裕多加、マルミ北栄商店、小井商店

おたる運河ロードレースを同窓会にしませんか

小樽商科大学
商学部経済学科教授

和田 良 介

新山邦幸さんは2019年11月19日逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

2004年の夏休み、私の研究室の留守番電話に田邊英夫さん(S 40年卒)からのメッセージが入っていました。駅伝チームへの誘いでした。その年の9月の豊平川サーモン駅伝に緑丘会の人たちが参加することになり、メンバーを探しているとのことでした。レース当日が初対面。これを必ず胸につけてくださいと言われて「緑丘会」と入った布を渡されました。駅伝は8km-5km-3km-5km-8kmの5人一組で、私は第一走者でした。21キロのハーフかフルマラソンしか経験がないので、8キロのペース配分がわからず、前の走者を追いかけるだけ追いかけてました。足が重くなるころ、あっさり終わりました。これが、マラソンを通じて緑丘会の方々と知己を得る最初でした。

レース後は「俺がよく使っているすすき野の店に行こう。店の見た目は汚いがカレーがうまい」との、たぶん池田さん(S 38年卒)の提案で、タクシーで昼食に向かいました。8キロではやり残した感じで食欲があまりわきませんでした。その昼食の席で「100周年の年には小樽運河ロードレースを商大生でいっぱいしよう」と新山さん(S 40年卒)が語っていました。あの会場に商大生がいっぱいか、それはいい。「あなたは招待選手です」と言われて、私は昼食代も駅伝参加料も支払うことはありませんでした。ではまたの機会にとは言ったものの、次がいつになるかわかりません。代わりに私は緑丘会の会費を払うことにしました。特別会員となりました。

私は新山さんの提案を和田副学長(当時)に持って行きました。緑丘会から寄付金があり、翌2005年の大会には商大のユニフォームが作成されました。Tシャツではなく、陸上競技選手が着るような上下そろったものです。渡されたときまだ値札がついていました。1万円近いものでした。私は授業開始直前の大教室に行き、勧誘を行いました。その年、商大のユニフォームを着て参加したのは学生では、私のゼミ生の菅野君と中島君、ドイツとアメリカの短プロの女子学生2人、女子バスケットボール部の小川くるみさんでした。OBでは小関さん(S 35年卒)、新山さん、田邊さん。教員は体育の花輪先生と私でした。事務職員の石ヶ森さんが荷物を運んでくれました。そして和田副学長(当

時)は荷物の番をしてくれたのです。学校からの大会参加費の補助金はまだなく、登録料3000円をそのまま支払っての参加でした。

その後、学内募集が拡大しました。年100万円前後の新山さんからの寄付金をもとに、学生教職員の参加料は無料とし、代わりに寄付金1000円を払ってもらうことにしました。立て看板を作り、ビラも大量に配布するようになりました。100周年の年は、商大Tシャツや小旗が作成され、学内からの登録者は174人ほどになりました。新山さんからは追加の寄付金をいただいたそうです。レース後の昼食会は最初の頃は新山さんたちや和田副学長(当時)が行う打ち上げに、ついて行った学生がお疲れ様とごちそうしてもらうものでした。この昼食会もニュー三幸に予め席を予約するようになりました。OBと教員は学生のため一人分以上支払っている形になっています。しかし、この余剰分の合計相当額は追加の寄付金として、私が後で新山さんから受取っています。つまり実質的に学生分はほとんど新山さんの支払いです。学生の寄付金1000円は、災害義援金として送られた年以外は桜の購入費用に充てており、それらの桜は体育館前に並んでいます。

おたる運河ロードレースに同窓会のひとつの形として参加されてはいかがでしょうか。走ったOBの方々だけでなく、夫婦で昼食会だけに参加されることもあるようです。もちろん、走った方が食事がおいしくなると思います。私は商大に赴任した年に、新聞でこの大会を見つけて20キロを走りました。それが初めてのマラソン大会でした。やってみれば1時間26分で完走。10キロ完走が不安なあなたも、これをきっかけに挑戦してみてはいかがでしょうか。



2005年集合写真

ーグリークラブ創部100周年にむけてー

詩集「雪明りの路」と合唱曲について

小樽商科大学グリークラブ札幌OB会会長

大 石 晴 也

(昭和55年卒)

前号では「若人逍遙の歌」についてお話しましたが、今回は我々の先輩である伊藤整の詩集「雪明りの路」と合唱曲についてお話したいと思います。

詩集は伊藤整が小樽中学（現潮陵高校）から高商の学生時代にかけて書き留めていた詩をまとめて、卒業後当時小樽市立（現長橋）中学校の教員であった大正15（1926）年に出版されました。自伝的小説「若い詩人の肖像」を併せて読んでみると、この詩集の題名は「凍りついてほの明るい雪の夜の感じを生かそうと思った。」と書かれており、各々の詩に流れる当時の小樽の風土を通じた伊藤整の青春の想いがより一層理解できると思います。

また昨年10月から11月にかけて小樽文学館において特別展「歿後50年伊藤整と北海道」が開催され、私も拝見しに参りました。当館は小樽にゆかりのある小林多喜二や伊藤整のコーナーを常設展示しておりますが、今回の特別展は、詩集の原稿、写真や手紙など普段見ることが出来ない貴重なもののばかりが展示されていました。その中に昭和35（1960）年の関西学院大学グリークラブの定期演奏会プログラムを発見して、すごい感動を覚えました。そのプログラムには数々の男声合唱曲を作曲した多田武彦氏（2017年12月没）の寄稿文と共に伊藤整の手紙も掲載されていたからです。多田武彦氏は同大学グリークラブの委嘱により、詩集「雪明りの路」から6編を選び男声合唱組曲「雪明りの路」を作曲、その年の定期演奏会で初演されました。伊藤整は自由な詩形が音楽になることに感動して作曲者の多田武彦氏に手紙を書いたのです。この組曲はその後全国のグリークラブで愛唱されるようになり、我がグリークラブも地元小樽を歌った組曲として愛着が強く、クラブ史上最も多く演奏した組曲となっております。

その後、私が四年生であった昭和54（1979）年に創

部60周年記念定期演奏会に委嘱作品を演奏しようという企画が持ち上がり、組曲「雪明りの路」の続編として多田武彦氏に詩集「雪明りの路」の詩から作曲を依頼したところ、母校の先輩の詩に後輩が歌うという企画に快く賛同していただき、委嘱作品男声合唱組曲「吹雪の街を」全6曲が完成、その年の12月に開催された定期演奏会で私の指揮で初演されました。

その後、我がグリークラブでは定期演奏会やアンコールの終曲として歌い継がれて、開校75周年記念に緑丘会札幌支部が制作した愛唱歌集のカセットテープのほか大学100周年記念CDにもこの組曲「吹雪の街を」が入っています。

グリークラブOB会は、今年高商音楽部創部から100周年を記念して、11月22日に札幌教育文化会館でOB演奏会を、11月28日には地元小樽マリンホールで現役学生と合同の記念演奏会を開催する予定です。演奏会では委嘱作品も企画していますが、今年は折しも伊藤整生誕115年でもあり、最も愛着のある組曲「雪明りの路」6曲全曲と「吹雪の街を」の終曲を取上げて演奏します。本学の先輩である伊藤整の詩の世界に陶醉してみませんか？

OBOGをはじめ関係者の方々のたくさんのご来場をお待ちしております。



99人の壁に出場して ～立ち上がれ! 99人の壁!～

須 川 正 啓
(平成18年卒)

2019年7月20日(土)放送分のフジテレビ系クイズ番組「クイズ99人の壁」において「センター回答者」として出場しました。

2008年の「パネルクイズ・アタック25」、2012年の「連続クイズ ホールド・オン」以来、7年ぶりのテレビのクイズ番組出演でした。

「99人の壁」は、自分の得意なジャンルを指定し、そのジャンルの問題を5問正解できれば賞金100万円がもらえるというルールです。私の指定したジャンルは、われらが商大のホームタウン「小樽」でした。

2月にオーディションを受けて合格通知をいただいてから、月1～2本のペースで収録に参加しました。最初の数回は、ボタンすら押せず何も答えられない状態で「何のために東京へ行ったのか」とお台場の夜景を見つめながら毎回ヘコんでいました。しかし、諦めず収録に参加し続け、通算6回目の収録でセンター席へ行くことができました。

センター席は、隣に司会の佐藤二郎さん、周りには99人の回答者という独特な雰囲気でした。緊張に負け

ず、一つ一つ正解を重ね、第4ステージまで進みましたが、ここで壁側の回答者に阻まれて私のチャレンジは終了しました。

放送当日は、他の出場者の成績が良く、残念ながら私の出演シーンは提供テロップのウラで3秒ほど映っただけでした。ただ、ファイナルステージまであと1つというところだったので悔しさはありますが、貴重な体験ができたので出場して本当によかったと思っています。

また機会があれば、リベンジしたいと思っています。目指せ100万円!



ーセミナー報告ー

ぬり絵でリフレッシュ

2019年9月13日(金)札幌サテライトにて、昆野照美さん(昭和62年卒)によるセミナー「ぬり絵で心と脳をリフレッシュ」を開催しました。

はじめに、色彩の基本とぬり絵の効能について学びました。知識があればTPOに合ったコーディネートができるので、服装だけでなく住環境にも役立てることができる。ぬり絵は認知症予防、自己覚知、ストレス解消等の効果があり、選ぶ色によって心の状態がわかるそうです。落ち込んでいる時は、黄色を使うと心が晴れやかになるのだとか。ピカソやゴッホの絵画からもその時の心理状態が読めるとのお話に、ぬり絵の奥深さを知りました。

お待ちかねのぬり絵タイムでは、ヒーリング音楽を流しながら、心のままに塗っていきます。テーマは①オンとオフの私、②怒りを爆発させよう、③安心できる場所の3種類。小学校以来かもと言いながら、気が付くと皆没頭していました。色遣いや塗り方も人ぞれ

ぞれで、意外な一面を垣間見ることができました。終了後の食事は9名全員が参加。ストレス解消したおかげ?で会話も弾み、楽しいひと時を過ごしました。

ぬり絵は気に入った絵柄と色鉛筆、音楽があれば気軽に始めることができます。皆さんも体験してみたいかがでしょう。



第13回MBA交流会のご報告

須 川 正 啓

(平成18年商学部卒、平成26年OBS修了)

■日時 2019年9月8日(日)

■場所 ホテルロイトン札幌

■参加者 OBS教員、修了生、現役生 およそ60名

緑丘会MBA会は今年も新役員が加入し、新しい体制のもと、さらなるパワーアップを目指しています。9月に毎年恒例の「MBA交流会」が開催されました。すでに400名を超えるOBS修了生の多様な活躍ぶりを紹介したいという思いから、昨年に引き続き講演を修了生にお願いしています。

今回は「BP&リサーチペーパーを実践に移して」をテーマとしました。修了生の齋藤厚さん(10期)、大橋弘昌さん(14期)、酒井大作さん(14期)の3名に、現役生の時に作成したビジネスプラン(事業計画書)、現在行っている事業、そして今後の展望などについてご講演をいただきました。

今年のMBA交流会は、OBSの授業と実際の仕事とがどのようにつながっているのかがよくわかる講演内容だったため、特に現役生の皆さんに多くご参加いただきました。

終了後の懇親会でも、久々に会う修了生同士の近況報告、現役生と修了生との交流など、ご参加いただいた皆さんの熱いエネルギーにより大盛会となりました。ありがとうございました。



令和元年度 エバーグリーン講座 日程

	講演月日	講演者氏名	卒年	講演テーマ	現職等
1	令和元年 10月 9日	藤沼 亜起		卒業50周年(昭和44年卒) 記念講演 目指そう・挑戦しよう 将来性のある会計プロフェッションへの道	日本公認会計士協会元会長、現相談役、 日本公認不正検査士協会理事長
2	令和元年 10月16日	二口 祐典 土井 若楠 村井 貴朗	平23 平23 平25	U-30 平成世代のキャリアデザイン	元総合商社・人材分野で起業 北海道文化放送(UHB) 記者 デンソー
3	令和元年 10月23日	斉藤 紀夫	昭41	「あるべきように」生きる	元三井物産株式会社
4	令和元年 10月30日	新岡 知恵	平6短 平8学部	自分流のワークライフバランスと議員の仕事	恵庭市議会議員
5	令和元年 11月 6日	納谷 征憲	平12	信託銀行員の仕事を通じて得たプラス思考の大切さ	みずほ信託銀行株式会社
6	令和元年 11月13日	池町 昌信	平7	パイロットという仕事	ANA フライトオペレーションセンター B777部 機長
7	令和元年 11月20日	沖田 憲文	昭53	異(食)文化圏で汗を掻く、現地化で貢献する ～フィリピン編～	元 味の素株式会社勤務、大学臨時講師
8	令和元年 11月27日	渡邊 至宏	平4	ビジネスマンである前に人として	株式会社ネクスト・エール 代表取締役
9	令和元年 12月 4日	熊尾 憲昭	昭56	北海道の金融業界概論・地域金融の現状と展望	空知信用金庫理事長
10	令和元年 12月11日	住吉 徳文	昭60	サッポロビールの歴史と現在、そして未来 ～札幌から始まった企業のグローバルな歩み～	サッポロビール株式会社 北海道本部 担当部長 サッポロビール博物館館長
11	令和元年 12月18日	斉藤 顕生	平元	多文化共生社会の到来に向けて 一世の中は多様性に満ちているー	国際協力機構(JICA) 北海道センター長
12	令和2年 1月 8日	森 裕	昭57	国家公務員として霞が関で働くこと	会計検査院第5局長
13	令和2年 1月15日	田島 誠也	平27 MBA	民間シンクタンクから地方公務員への転職と Social Entrepreneurship	北海道釧路総合振興局 産業振興部 商工労働観光課
14	令和2年 1月22日	若林(暮石) 緑	平10	小樽商大から大学研究者への道へ	東北大学経済学部 准教授

責任（者）とは ～ 果たされることはない？

札幌緑丘囲碁クラブ

説明責任、任命責任、自己責任等々…責任を冠する用語が多い。

説明責任を考えてみたい。こちらはレスポンシビリティ (Responsibility 一般責任) よりアカウンタビリティ (Accountability) が適当で、「行為活動について利害関係者に説明する責任」がその解釈である。対象は企業、行政、個人では経営者、政治家等である。

政治家から頻々と失言や不適正行為が出て来るが、その説明たるや言い訳、言い逃れ、なんと責任転嫁にまで及ぶとなると、とても説明責任が果たされたことにはならない。

更に責任者となれば或る揶揄、風刺を込めた辞典によると「日本には存在しない人間」とある。^{むべ}宜なるかなと納得である。

囲碁においては全てが問答無用、自己責任のみである。

- 定例会 9月 8日 (日) 大通囲碁センター 参加20人
 11月17日 (日) 大通囲碁センター 参加24人
- 知事杯戦 12月 1日 (日) 大通囲碁センター Aチーム3位



大通囲碁センター

第4回ビジネス交流会ご報告

ビジネス交流会代表

渡 邊 至 宏
(平成4年卒)

2019年11月1日 (金) 18:30 ~ 21:00

大学の学びから社会で「成果」をだせるように、同窓の縦の信頼関係構築を目的として「ビジネス交流会」を設立してから約1年が経ちました。多くのビジネスはコミュニケーションが基本となりますが、基本的に人は「自己承認」ができて初めて「他者承認」ができます。「他人をよく責める人」は自分に対する「自己承認」が低い場合が多いようです。そこで今回は「自分を認める」というテーマのテーブルワークを4人一組で行ってから交流会をスタートしました。その結果過去4回の中では最大に盛り上がった交流会となりました。

毎回、現役学生や20代から60代の先輩方までの30名を超える方々に幅広くご参加いただき、そのフラットな関係を楽しんでいただける場になってきたと実感しています。次回第5回は2020年2月28日 (金) を予定しておりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。



春秋50年!! 昭和45年卒業 50周年記念 同期会のご案内

日 時▶2020(令和2)年10月13日(火)～14日(水)

会 場▶(宿泊・懇親) グランドパーク小樽

(訪問) 小樽商科大学

内 容▶懇親宴会、大学訪問、親睦ゴルフ、記念誌発行等

問合せ▶札幌ー伊藤光安(090-2697-9495)

上田一敏(011-231-6900)

東京一大橋克也(080-6535-5445)

内容ですがすべて確定している訳ではありません。追って順次ご案内します。

1980年卒業(昭和51年入学) 卒業40周年記念同期会 を開催します

日 時▶2020年6月20日(土)～21日(日)

会 場▶小樽朝里クラッセホテル

編 集 後 記

最近、私の周辺で新たな支部の動きを耳にします。

以前、私と同じ職場へ派遣されていた後輩の女性が地元の北見へ戻り、昨年10月のオホーツク支部設立の中心的な役割を果たしましたが、私も当日、北見まで祝福に駆け付けてきました。

また、私と同期で同じ弓道部に在籍した根室出身で内山下宿にいた男が数年前に台湾支部を立ち上げました。私も直接、話を聞きたいと思っていたので、昨年末、台北へ行き、数年ぶりに再会してきました。

さらに、私と同じ職場からタイへ派遣されている後輩からは、タイ支部を復活させ、年に数回集まりますと、集合写真が送られてきました。

私は、この1年間、先輩らと企画したビジネス交流会を年4回開催し、新たな後輩との縁が少しずつ広がっていると認識していました。

しかし、これらの他支部の活動に刺激を受け、私自身、現状の活動に満足することなく、今まで以上に若いOBが私たちの活動と一緒に参加してもらえるような機運醸成を高めるための知恵を捻り出しながら活動を継続し、そして、まだお会いしたことのない後輩との縁を結びたいと心を馳せ、決意を新たにしております。

最後に、今年も健康を保ち、小樽運河ロードレースを商大生やOBらと一緒に走りたいと思っています。

編集部員 八十島 忍(昭和62年入学)

亡くなられた会員の皆様

(2019年5月～2019年11月受付)

卒 年	氏 名	ご逝去日
昭和13年	鬼 頭 仁 也	2019年6月29日
昭和16年	星 晃 治	不明
昭和22年	伊 藤 博	2019年1月30日
昭和23年	大 橋 道 孝	2016年7月23日
昭和24年	岩 城 禮 三	2017年12月23日
昭和25年	雨 宮 純 一	2019年5月29日
昭和28年	福 永 祐 一	2019年5月13日
昭和30年(短)	神 指 昭 一	2018年9月15日
昭和31年	高 橋 昇	2016年
昭和31年	鈴 木 徹	2019年3月1日
昭和31年	築 瀬 敏 雄	2019年6月11日
昭和31年(短)	長谷川 正 二	2018年12月5日
昭和34年	氏 家 幸 演	2019年8月20日
昭和36年	藤 井 忠 信	2019年5月4日
昭和40年	新 山 邦 幸	2019年11月19日
昭和43年	渡 邊 誠	2019年8月31日
昭和45年	中 山 肇	2019年8月10日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

緑丘会札幌支部

電話／FAX：011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール：ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

緑丘会札幌支部は、会員の皆様の会費によって運営されています。

緑丘会会費とは別に、札幌支部会費として年額3,000円を申し受けております。3年分、5年分とまとめてお支払いになりますとお得な割引制度もございます。

また来年度より支部会費の口座振替を開始します。郵便局や銀行に足を運ぶ必要がなく大変便利です。お問合せ、書類をご希望の方は支部事務局までご連絡をお願いします。

新年交礼会の受付でもお手続きを承りますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和2(2020)年緑丘会札幌支部 新年交礼会のご案内

今年も幅広い世代の同窓が一堂に集い、新年交礼会を開催致します。お世話になった先輩や懐かしい友人との再会、これからの人脈作りに、多くの皆様のご参加をお待ちしております。新たなご縁を繋げるきっかけとなるよう、名刺をお持ちの方はぜひご持参ください。

と き▶令和2年2月15日(土)

開場:午後1時30分

開会:午後2時(午後4時30分終了)

ところ▶ロイトン札幌 3階

(中央区北1西11 ☎271-2711)

会 費▶6,500円



当番幹事からのメッセージは
裏面をご覧ください。

グリーンクラブOB会の皆様の
素敵な歌声でお迎えします。



卒業年ごとにお席を用意

お席は円卓で、卒業年ごとになります。「入学が一緒」などご希望がありましたらお申し出ください。
お子様連れでもご参加いただけるよう、キッズスペースをご用意致します。(事前申込が必要です。)

ゼミやサークル単位で

ゼミや部・サークル、職場など団体でのお席も承ります。この機会にぜひ先生やお仲間にお声掛けください。

お申込み

1月27日(月)までに、各年度幹事が支部事務局まで卒年とお名前をご連絡ください。

当日は受付が大変混み合います。できるだけ事前にお申込の上、会券をご持参くださいますようお願い申し上げます。
会券は裏面、または支部のホームページよりダウンロードしてご利用ください。

ROYTON SAPPORO

「おかえりなさい」の、おもてなし。

より日常に近い居心地と、心から休まる場所であることを重視した客室。
その時いちばん美味しいものを、いちばん美味しい形でお召し上がりいただけるレストラン。
どのようなシーンにおいても、お客様がいつでも帰って来られる場所を目指して。
心温まるおもてなしを添えて、皆様のお越しをお待ちしております。

〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目
<https://www.daiwaresort.jp/royton/> TEL 011 271 2711 (代表)



「1年に一度じゃない、一生に一度だ!」

私にとって商大の良さは「北に一星あり、小なれどその輝光強し」という言葉に表されていると感じます。一説によるとこの言葉の作者は商大生ですが、読み人知らずだそうです。また、この北の一星とは北極星のことだそうです。確かに、北極星はとても小さい。しかし、北の方角を明確に指し示す北極星は見た目以上に大きな存在です。大航海時代、大海原を駆け巡った人類にとってどれだけ多くの夢をかなえ、人の命を救ってきたことでしょうか。

平成3年に入学し平成7年に卒業した者が大半を占める私たち当番幹事代は、商大を卒業以来、社会の大海原に未熟ながらも船出し、迷いながらもなんとか現在まで人生の航路を進んできました。実際に社会に出てからの同窓に会った時の喜びはなんとも言えない飛び切り嬉しいものでした。そんな「商大でよかったな」と思えるチャンスは緑丘会活動へ参加することでますます多くなります。緑丘会活動の代表的な2つ



の行事である新年交礼会、年次総会を当番幹事として携われることはとても光栄なことであり、これまでお世話になった先輩や恩師、そして大学へご恩返しができる一生に一度のとても貴重な機会だと捉え、私たち平成3年入学(平成7年卒)の幹事は力を一つに合わせ精一杯皆様をおもてなしいたします。次回の新年交礼会、年次総会へは是非皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

当番幹事代表 歌原邦芳(経営法学コース、久々湊ゼミ、アメフト部、滝川高校)

当番幹事(平成3年入学・平成7～9年卒)

代 表 歌原邦芳

幹 事	秋田貴之	阿部孝志	上野江利子	遠藤博志
	風穴三樹子(立野)	梶 芳彰	菊地美哉(植田)	木村友美
	久保田優	小林幸恵	澤田陽子(熊倉)	高橋真美(黒田)
	高橋美稀	立野 靖	田邊龍太郎	寺井貫生
	中田 健	野澤桐子(芝)	百田祥子	蓬田聖美(林)



(五十音順)

1人でも多くの同窓の方のご参加をお待ちしております！

き り と り

令和2(2020)年緑丘会札幌支部

新年交礼会

●と き 令和2年2月15日(土)

午後1時30分 開場

午後2時 開会

●ところ ロイトン札幌 3階

(中央区北1西11 ☎271-2711)

●会 費 6,500円

お名前

ご卒年

(昭・平)

年卒

学生

年

次回ご案内をお送りしますので、初めてご参加の方、変更のある方はご記入ください。

ご住所

電話・アドレス

(自宅・勤務先)

出身高校

所属ゼミ・部・サークル

ご勤務先

差し支えない範囲でご記入をお願いします。

この機会に支部へ入会を希望される方は、チェックをお願いします。

☐